

■ 子ども親もみんなで育つまち・渋川（渋川学区まちづくり協議会 子ども育成部会）

1 【活動の趣旨】

「いいな いいな とともに学んで ふれ合うまち 渋川」を合言葉に、学校と家庭と地域が関わり合いながら、大人とこどもが世代を超えて、ともに協力し合い、ともに学び、ともに喜びを分かち合えるまちづくりを目指し地域協働をすすめる。

2 【特徴的な活動内容】

○「ぶんかいまつり」

小学生以上のこどもを対象に学生団体 potential を講師にお迎えして講座を開催した。「ぶんかいまつり」とは、廃材分解イベント。参加者をグループに分け、机に配置された廃材となったパソコンを「どれだけ細かく分解できるか」を競い合った。分解に興味を示してくれたこどもが多く、1つの電子廃材を前に目を輝かせていた。スタートの掛け声とともに、小さな手がパソコンを細かく分解し始め、最初はぎこちない手つきでしたが、徐々に工具を使いこなし、互いに協力し合いながら分解を進めていった。最も細かく、かつ正確に分解できたグループと協力して作業ができたグループが表彰された。まわりの大人は手伝いたくて仕方ない中、こどもだけでやり遂げた達成感で誇らしげな笑顔が見られた。また環境についての講義もあり、分解した廃材がリサイクルされる仕組みを学び親子で環境問題への意識を高めることができた。学生さん達の取組が地球環境にどう貢献しているのかを学ぶ良い機会となった。

《概要》日時：令和7年6月28日（土）

参加：こども 38人・大人 31人



【ぶんかいまつり】

○「親子でクレイ粘土教室」

渋川学区在住の大人とこども（小学校1年生～小学校6年生）を対象に季節を感じながら、お正月のしめ縄・干支の置物を、クレイ粘土を使って作品に仕上げ持って帰ってもらった。

親子でものづくりを通じてつながりを大事に、交流を図ることができた。

《概要》日時：令和7年12月6日（土）

参加：こども 73人・大人 64人



【親子でクレイ粘土】

3 【実施にあたっての工夫】

工具を利用するに際しては安全性を確保するため、役員を多く配置した。こどもの安全面を配慮しながら行った。

4 【事業の成果】

地域のこどもと大人での会話が増え、役員や有志ボランティアの方へ感謝する気持ちを学ぶことができた。地域の大人や団体との交流ができる良い機会となった。

5 【事業の今後の展望】

こどもと大人とのつながりを大切に、地域ぐるみでできる事業を継続していく。